

グラフで見る関西経済 (2020年5月)

2020年5月27日

調査部 主任研究員 塚田 裕昭

今月の景気判断 ~新型コロナウイルス感染症の影響で悪化している

【今月のポイント】

- 新型コロナ感染拡大に伴う自粛等の影響で、景気は悪化している。本稿で示す3月、4月の指標は総じて非常に厳しい水準にある。
- 生産水準は、大きく低下。生産用機械、電気機械など機械類が減少。一方、電子部品・デバイスは前月比で減少するも前年比では増加。先行きの生産は減少傾向が続こう。
- 輸出は減少傾向が続くが、半導体電子部品、遊戯用具等が堅調で、全国に比べると減少幅は小さい。
- 個人消費は、緊急事態宣言下の営業自粛の影響で低迷。特に百貨店売上は前年比-78.2%と大幅減。うち免税売上は入国制限もあって同-98.9%とほぼ消失した。
- 消費マインドはリーマンショック時を下回る過去最低の水準まで落ち込んでいる。

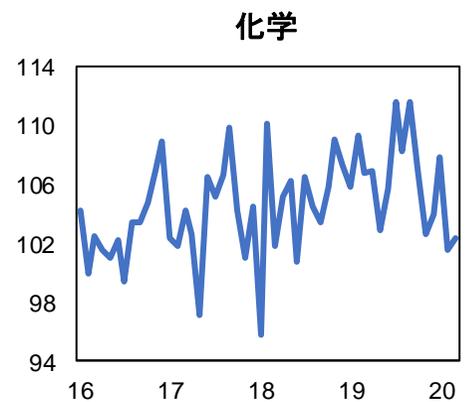
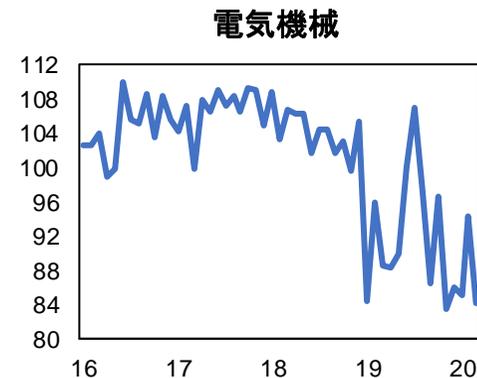
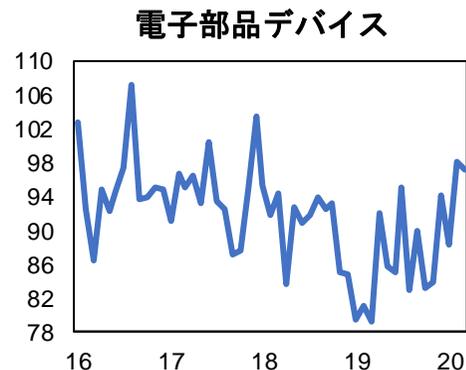
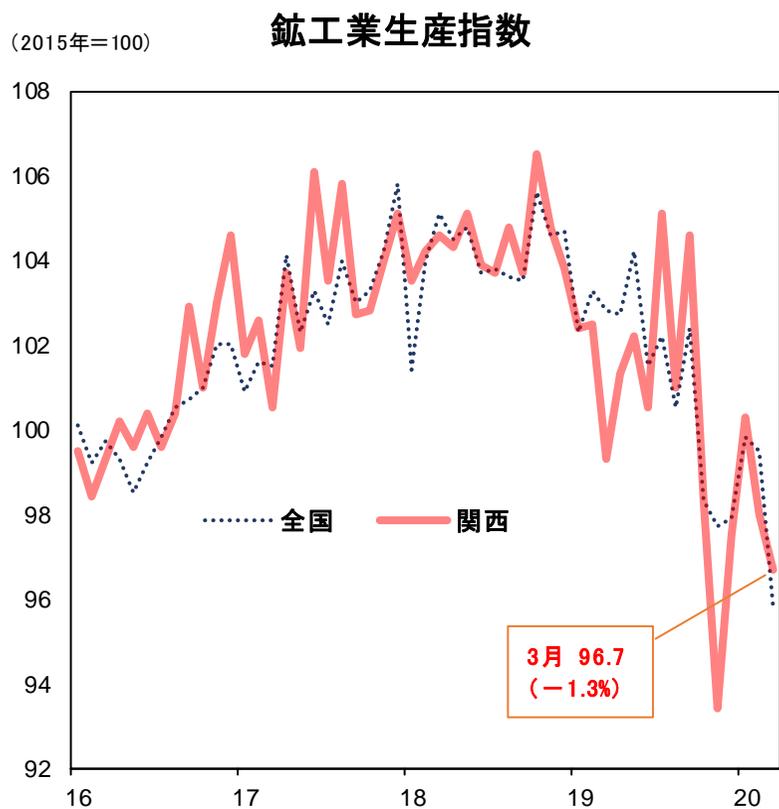
項目	現状
景気全般	新型コロナウイルス感染症の影響で悪化している
生産	減少している
輸出	弱含んでいる
設備投資	増加基調
雇用	横ばい圏で推移
賃金	弱い動きとなっている(↓)
個人消費	減少している(↓)
住宅投資	横ばい圏で推移
公共投資	前年比で増加

(注)賃金は「弱含んでいる」から下方修正

個人消費は「新型コロナ影響による下押しがみられる」から下方修正

生産

3月の鉱工業生産は前月比-1.3%と2ヶ月連続で減少した。金属製品、電気・情報通信機械、生産用機械などが前月比で減少した。前年比では-1.1%減。当面は新型コロナウイルス感染拡大の影響で減少が続こう。



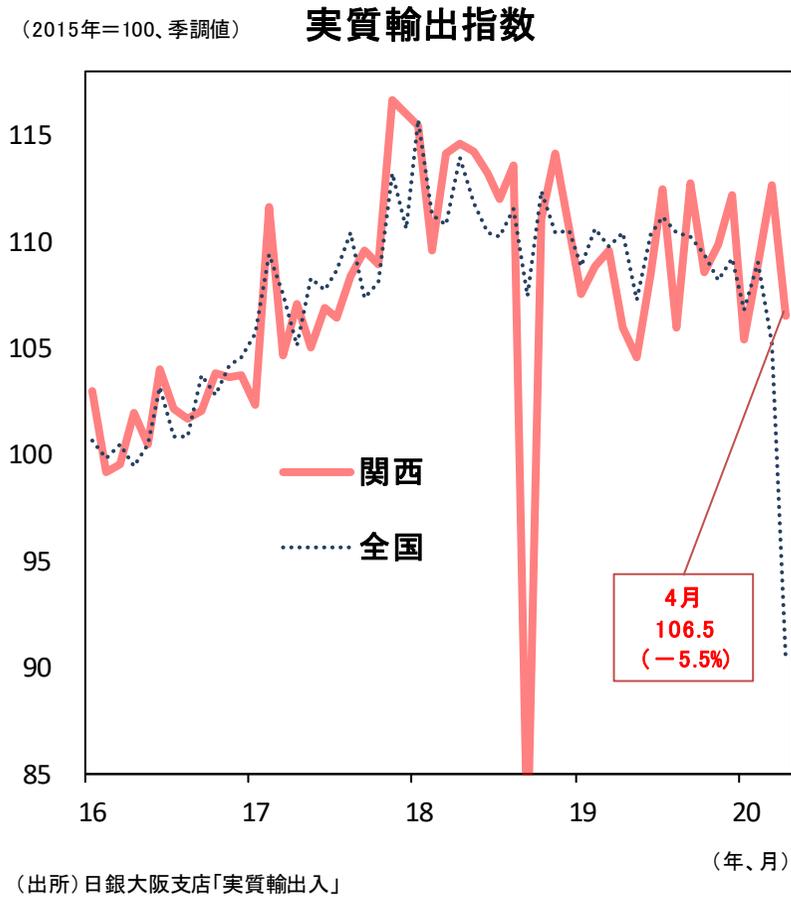
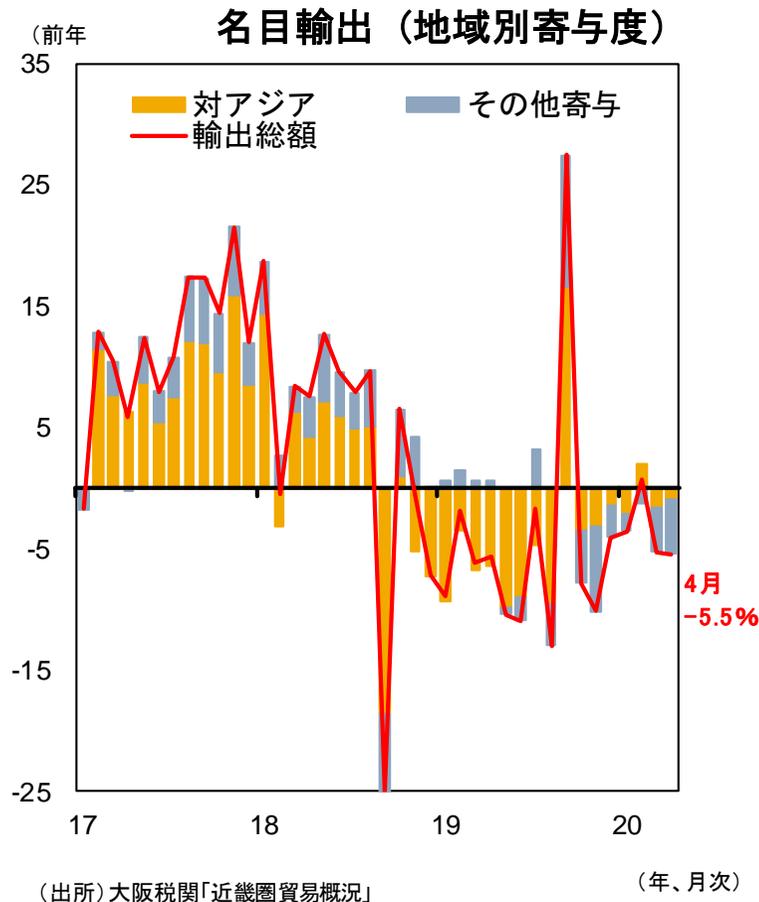
(出所) 経済産業省、近畿経済産業局

(年、月)

輸出

4月の名目輸出額は前年比-5.5%と2ヶ月連続で減少したが、アジア向けの減少幅が縮小(中国向けは増加)。半導体電子部品、遊戯用具が増加したこと、自動車の落ち込みの寄与が小さかったことにより、全国(同-21.9%)に比べ落ち込みは小幅となった。

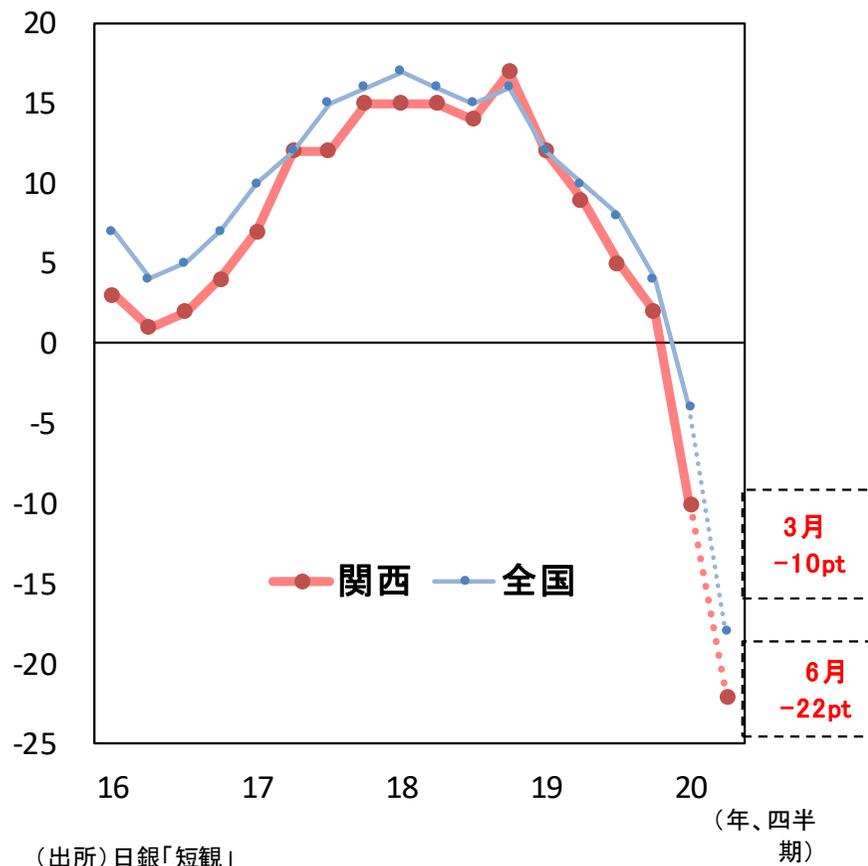
4月の実質輸出指数(季節調整値)は前月比-5.5%と3ヶ月ぶりに低下した。



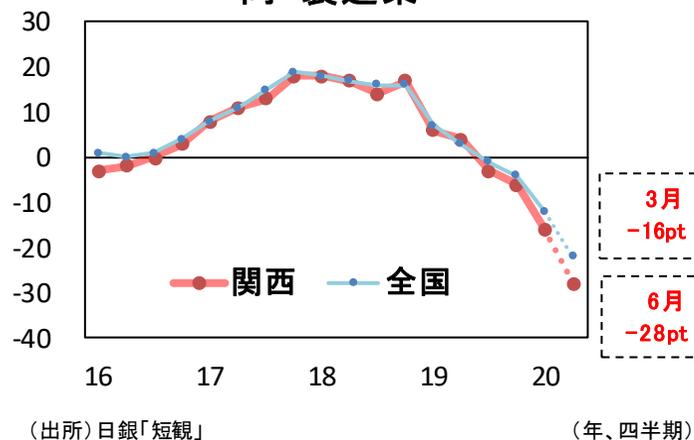
企業景況感(日銀短観) ※以下は4/1公表の3月調査。6月調査は7/1公表予定

日銀短観3月の業況判断DIは全産業で-10ptと12月から大幅に悪化。製造業は-16pt、非製造業は-3pt。先行き(6月)についても、全産業、製造業、非製造業、いずれも悪化が見込まれている。

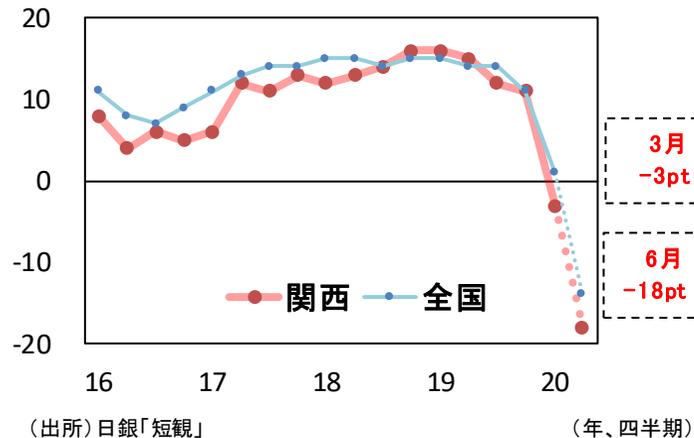
短観 業況判断DI「全産業」



同 製造業



同 非製造業

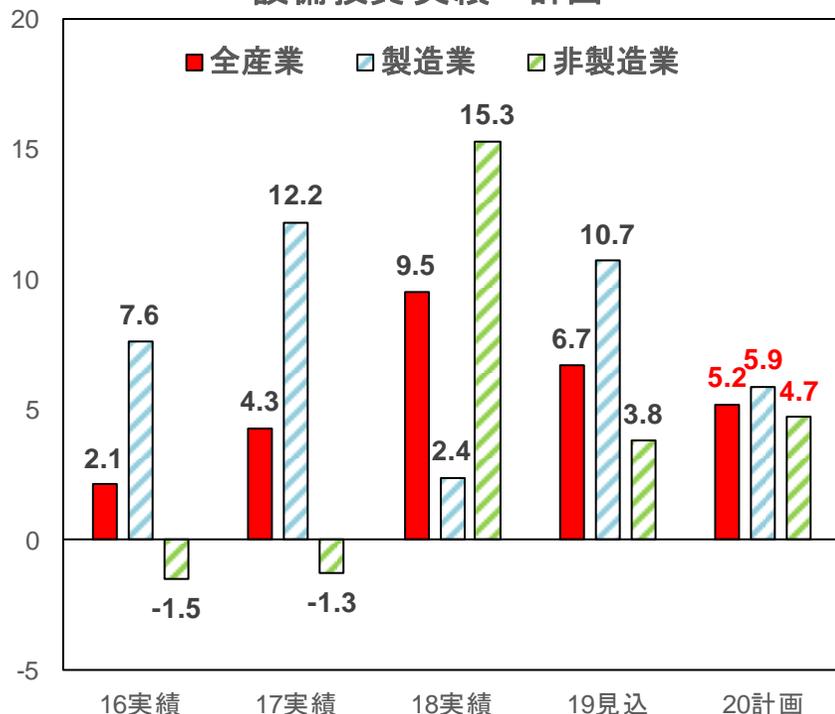


設備投資 ※以下は4/1公表の3月調査。6月調査は7/1公表予定

日銀短観3月調査によると、19年度の設備投資は上方修正。12月調査比で製造が下方修正、非製造(対事業所サービス、宿泊・飲食サービス等)が上方修正となった。20年度は全産業、製造、非製造いずれも前年比増加を見込む。

(前年比、%)

設備投資実績・計画



設備投資額(前年比%)

	18年度実績	19年度計画		20年度計画
		今回	12月調査時 [差異]	
全産業	9.5	10.6	6.7 3.9	5.2
製造業	2.4	8.1	10.7 -2.6	5.9
非製造業	15.3	12.4	3.8 8.6	4.7

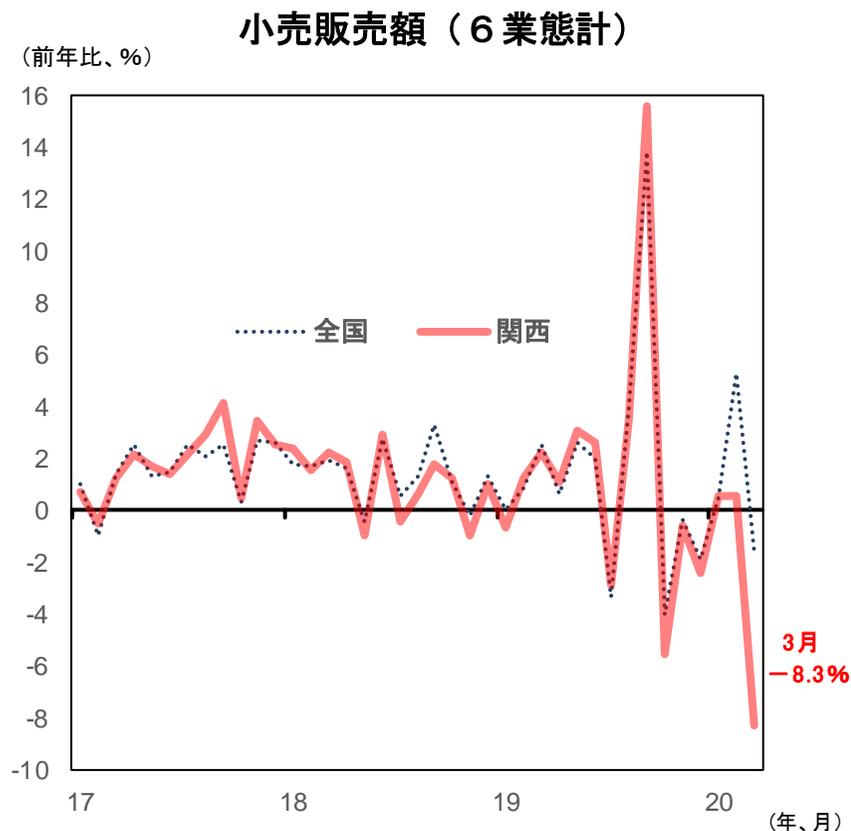
(出所)日銀大阪支店「短観」

(年度)

個人消費(小売売上、自動車販売)

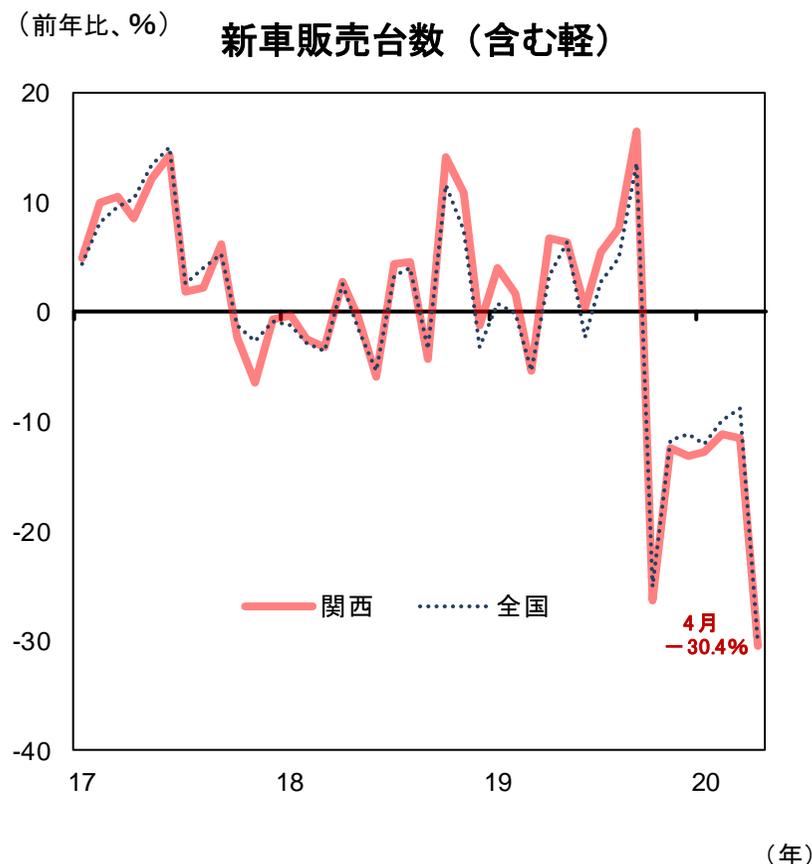
3月の小売販売額は、前年比-8.3%と大幅に減少した。緊急事態宣言下での行動自粛とインバウンド蒸発による百貨店、家電量販店の減少が大きい。

4月の新車販売は、営業自粛の影響もあって、前年比-30.4%と減少幅が拡大した。



(出所) 商業販売動態統計

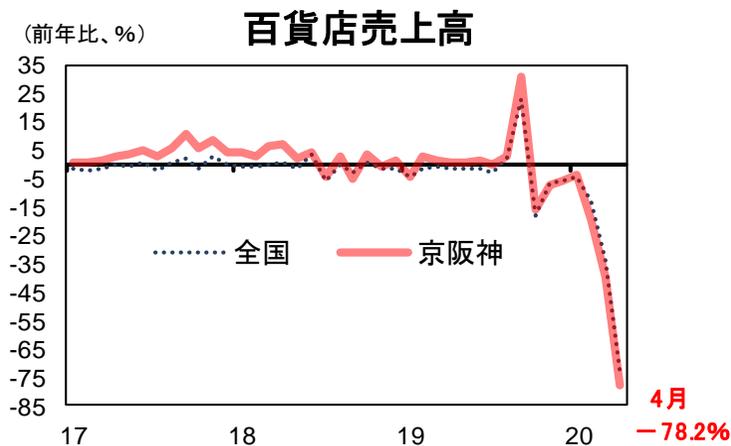
(注) 百貨店、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、家電量販店、ホームセンターの合計



(出所) 日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会

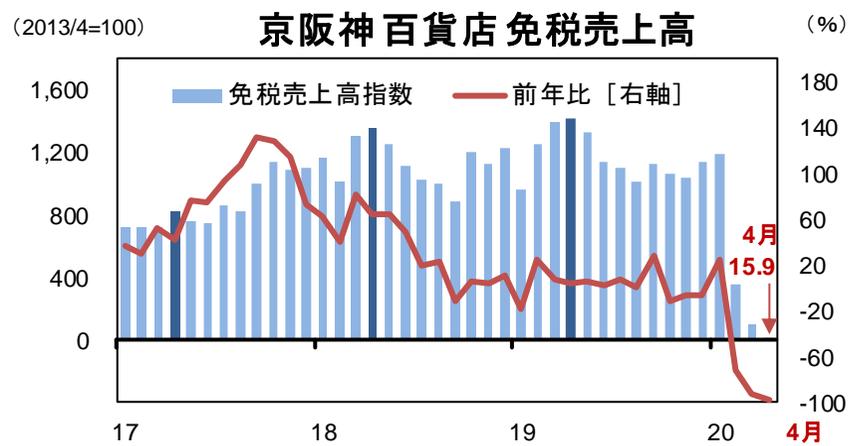
個人消費(業態別)

4月の百貨店売上は、緊急事態宣言下の営業自粛の影響で前年比-78.2%と大幅減。うち免税売上は入国制限もあって同-98.9%とほぼ消失した。

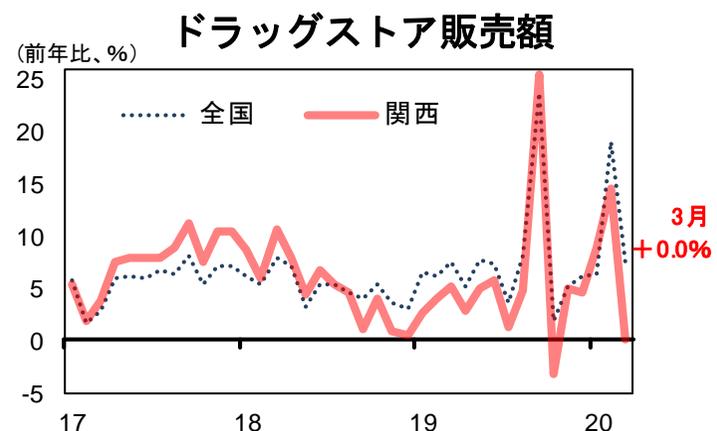


(出所) 日本百貨店協会

(年、月)

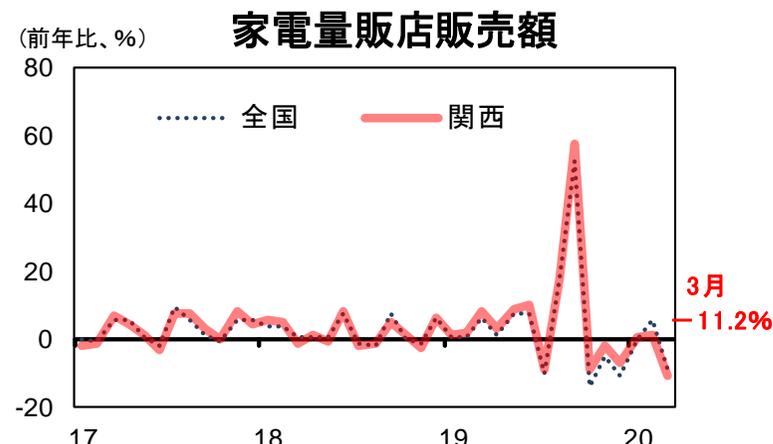


(出所) 日銀大阪支店「百貨店免税売上(関西地域)」



(出所) 商業販売動態統計

(年、月)



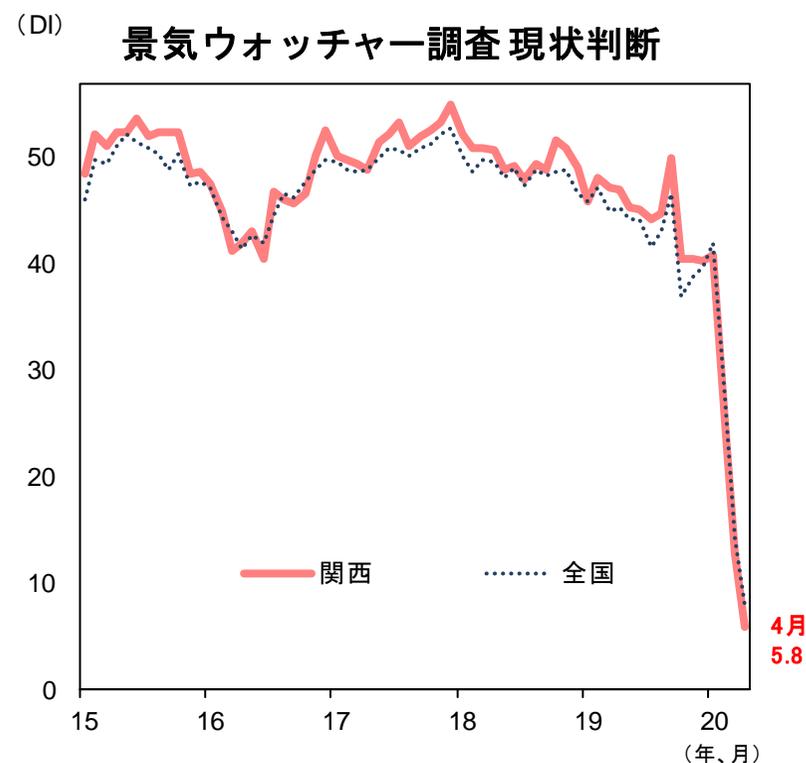
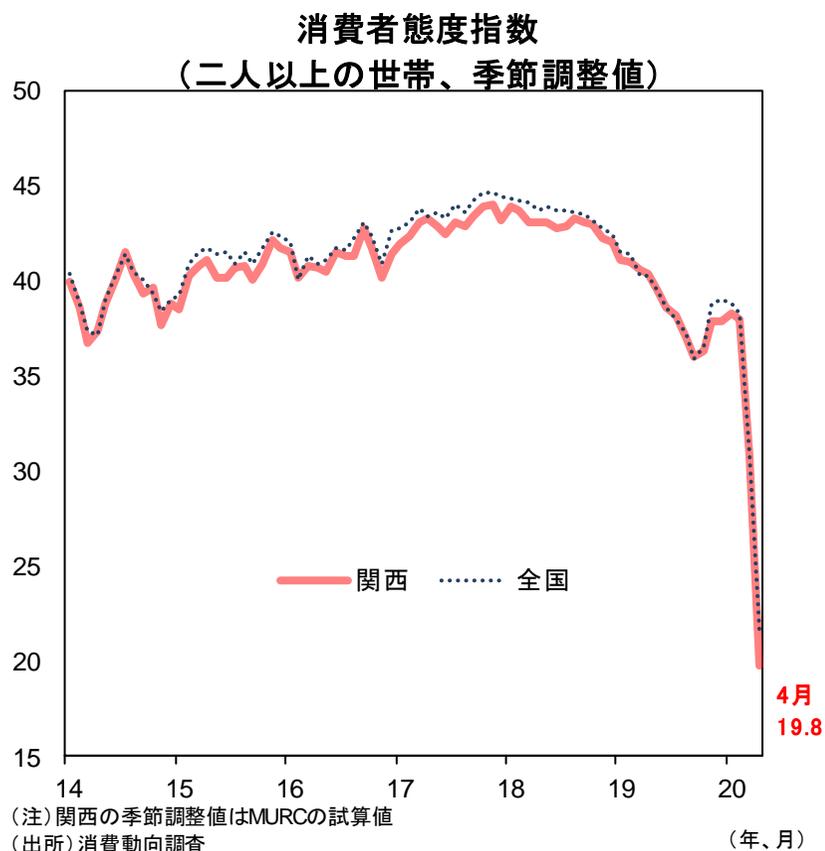
(出所) 商業販売動態統計

(年、月)

マインド・景況感

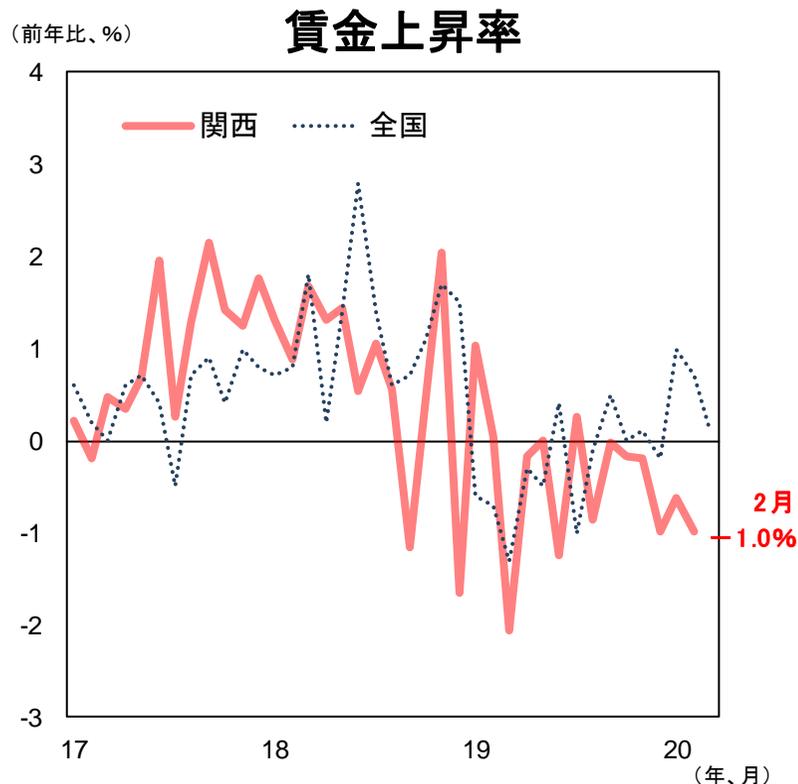
4月の消費者態度指数(季節調整値)は、コロナウイルス感染拡大・緊急事態宣言発令により19.8と大幅に低下。

景気ウォッチャー調査の現状判断DI(季節調整値)は5.8となり、数字のとれる2002年1月以来の最低水準を更新した。

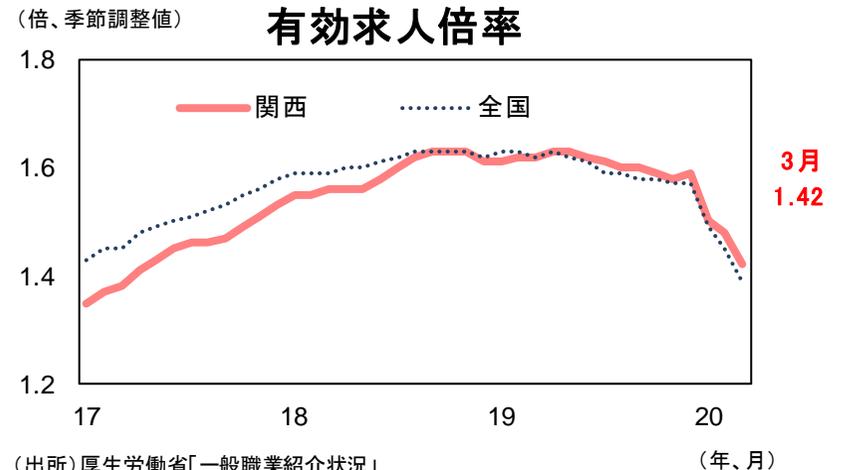


賃金・雇用

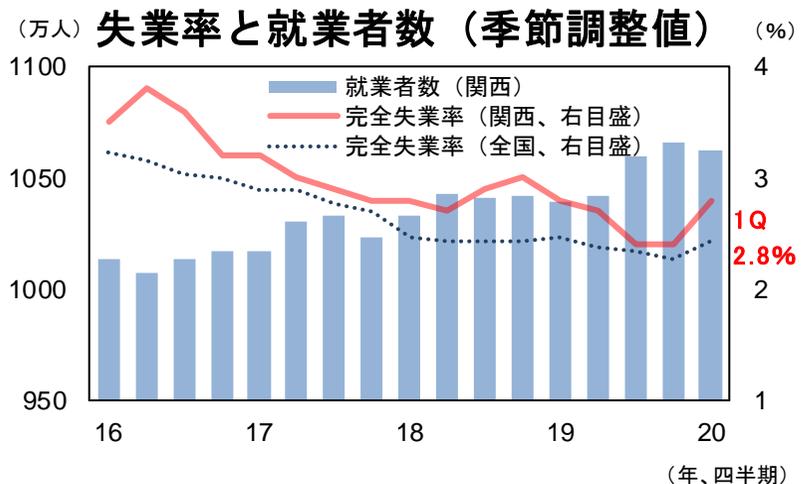
2月の名目賃金指数は、前年比-1.0%と7ヶ月連続で前年比減。賃金動向は弱い動きとなっている。
3月の有効求人倍率は3ヶ月連続で低下。新型コロナウイルス感染拡大の影響がみられる。



(注) 関西2府4県の名目賃金指数を常用労働者数で按分し合成したもの、MURC試算
(出所) 厚生労働省、各県「毎月勤労統計」



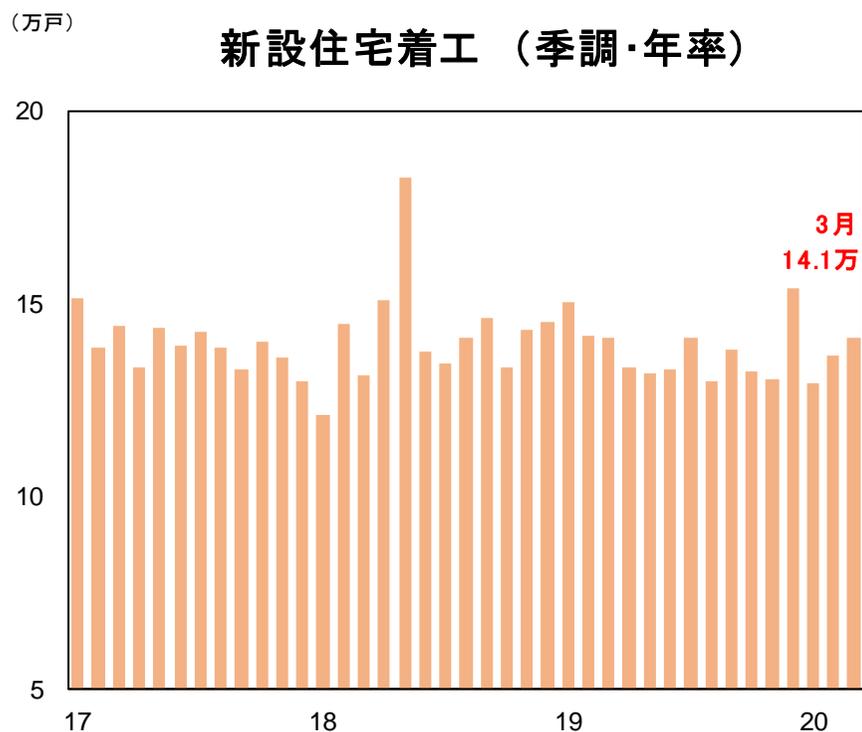
(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」



(出所) 総務省「労働力調査」

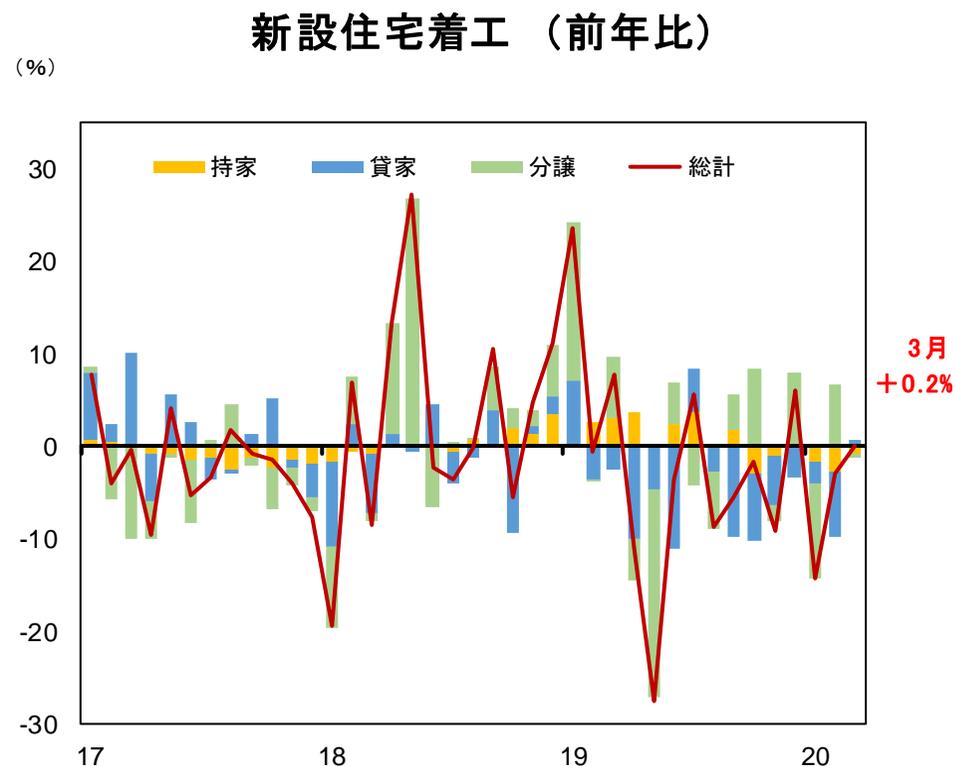
住宅投資

3月の住宅着工は季調・年率14.1万戸、均してみると横ばい圏で推移。原数値では前年比+0.2%。持家、分譲が減少したが、貸家が増加した。



(出所) 建築着工統計

(年、月)

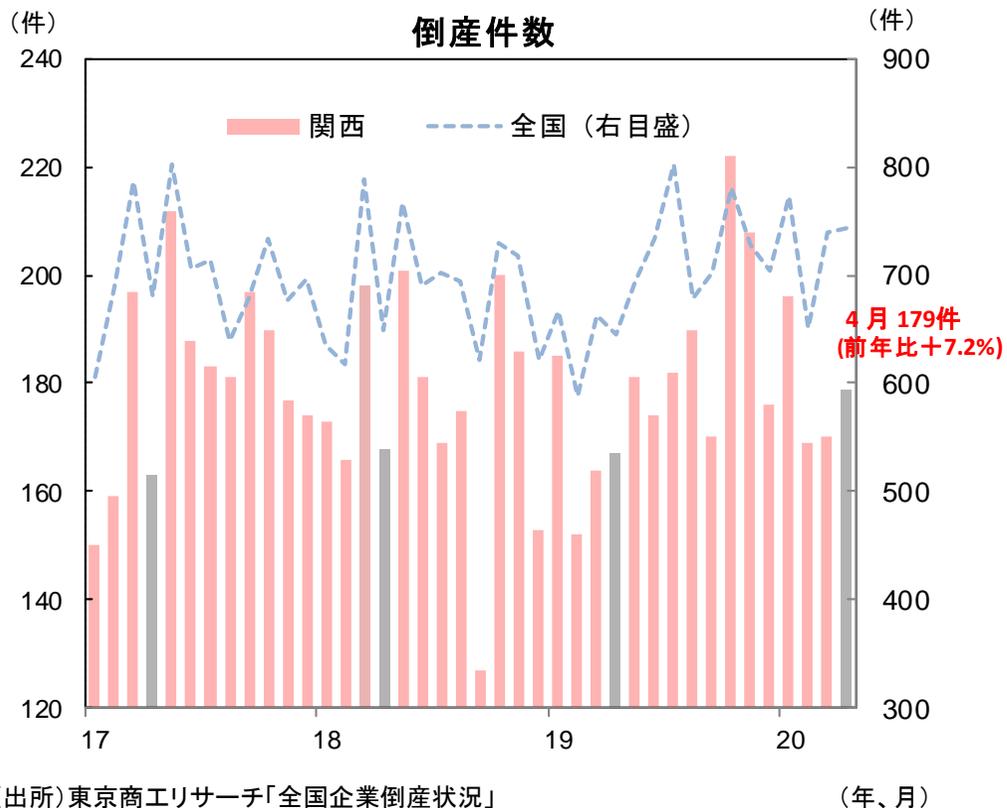


(出所) 建築着工統計

(年、月)

倒産

倒産件数は前年比での増加が続いている。



公共投資

公共投資は増加基調で推移している。



ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 TEL:03-6733-1070 E-mail:chosa-report@murc.jp

〒108-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

－ ご利用に際して －

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください